

佐久市議会議員 議会報告

高柳 ひろゆき 通信



発行 高柳 ひろゆき後援会事務所 佐久市塩名田 558-6  
 電話 0267-58-4367 携帯 090-4613-0021  
 メールアドレス [shionada5586@ybb.ne.jp](mailto:shionada5586@ybb.ne.jp)

●ご挨拶

こんにちは、市議会議員の高柳です。

枯れ葉が舞い落ち、いよいよ冬の季節が到来です。

本年は新型コロナウイルスと、インフルエンザのツインデミックが発生する可能性がありますので、十分な対策を取っていただきたいと思います。今回は第3回定例会（8月26日～9月25日）で認定した令和元年度の決算状況や議決した補正予算についてご案内します。

●令和元年度決算状況

一般会計

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	翌年へ繰り越す財源	実質収支額
49,808,211,499 円	48,207,991,792 円	1,600,219,707 円	467,272,643 円	1,132,947,064 円

特別会計（国民健康保険・介護保険・白田学園・後期高齢者医療・住宅新築資金等貸付事業・奨学資金・環境エネルギー事業・茂田井財産区）

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	翌年へ繰り越す財源	実質収支額
22,118,810,129 円	22,078,817,516 円	39,992,613 円	なし	39,992,613 円

総決算の歳入歳出差引額は、1,640,212,320 円となり翌年度へ繰り越す財源を差引いた実質収支は、1,172,939,677 円の黒字となります。

令和元年度の一般会計の決算状況を1年間の家計の収支に置き換えるとこんなイメージです。

収入

給料 (市民税・固定資産税・地方交付税)	275 万
不動産等貸付収入 (市施設の使用料・財産収入)	39 万
親からの資金援助 (国・県からの補助金)	104 万
家の増改築等ローンの借り入れ (市債)	55 万
貯金の引き出し (基金からの繰入金)	13 万
前年からの繰越金 (前年度繰越金)	12 万
合計	498 万

支出

食費 (職員・議員の給料・人件費)	59 万
光熱費や日用品の購入 (光熱費や消耗品購入の物件費)	60 万
車や家電の修理費 (市が管理する施設などの維持補修費)	6 万
医療費 (福祉医療や生活保護などの扶助費)	74 万
家の増改築費 (道路や学校建設などの投機的経費)	90 万
親戚・友人への支援 (補助費・投資及び出資金・貸付金)	74 万
子供への仕送り (国民健康保険など他会計への繰り出し金)	44 万
住宅・自動車などのローン返済 (市債を返済する公債費)	60 万
預金 (基金への積立金)	15 万
合計	482 万

預貯金（基金残高） 352 万

昨年度は、令和元年東日本台風の災害復旧事業のため投機的費用が増えています。また市債を返済する公債費も大きな割合を占めています。

基金残高は、県内19市中NO1ですが、基金設立当初の目的をすでに達成したものについては、条例の廃止など今後の運用方針を検討するよう監査委員より指摘を受けています。積み立ても必要ですが、今後市民の皆様のために使ってこそ価値あるものになると思います。早期の有効利用が望まれます。



●第三回定例会で議決された主な補正予算

事業内容	請負会社	請負代金
① コスモホール復旧 電気・機械設備等（本体）工事	(株)堀内組	2億 108万円
② コスモホール復旧 電気・機械設備等（管）工事	(株)竹内設備	2億 1,648万円
③ 佐久平駅南1号線他道路整備工事	(株)竹花組・小林建設工業(株)・(株)佐久総合	12億 4,850万円
④ 野沢会館第1期解体工事	(株)安井建設	1億 8,656万円
⑤ 教育用コンピューター導入（小学校南部地区・学校教育課）	(有)中忠商店	1億 3,329万 3,600円
教育用コンピューター導入（小学校北部地区）	(株)パスカル	1億 3,122万 9,989円
教育用コンピューター導入（中学校・学校教育課）	(有)ナカカツ	1億 3,067万 6,535円
⑥ 佐久市東会館改築工事	池田建設(株)	3億 8,368万円

9月定例会では下記の質問をしました。

コロナ禍での諸対策について

① PCR検査について

(高柳) 介護従事者が自費でPCR検査をする場合、市からの一部助成ができないか。

(大塚福祉部長) 現在、新型コロナウイルス感染が疑われている方や、濃厚接触者においては、保健所の指示、又は、かかりつけ医の判断によりPCR検査を行っている。現在の市内における感染状況から、介護従事者については、現時点では予定していない。

(高柳) 感染警戒レベル4の上田地域では、県の指導により、希望者に公費負担でのPCR検査が行われている。感染拡大の前に予防の意味で県に介護従事者限定のPCR検査を働きかけることを提案します。

② 65歳以上の高齢者のインフルエンザ予防接種の状況について

(高柳) 実施状況と接種率は。

(小林市民健康部長) 対象者は65歳以上の方及び60歳以上65歳未満の方で心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、又はヒト免疫不全ウイルスの疾患により身体障害者手帳1級の交付を受けている方がたです。自己負担額は、各市町村で異なるが、佐久市は、1,000円を各医療機関の窓口でお支払いいただき残りの接種費用は、市が負担している。本年は新型コロナウイルスの流行を考慮し、開始時期を10月1日とし、1か月延長して令和3年1月31日とします。次に接種率ですが、厚生労働省公表の平成30年度は47.90%が示されているが、佐久市の接種率は平成30年度55.8%となっており全国平均よりも高い。



③ 本庁舎の感染防止について

(高柳) 消毒液やパーテーションの設置状況、職員の勤務等で取り組んでいる事は。

(佐藤総務部長) 消毒液の設置については、手指消毒のため、アルコール消毒液を庁舎全ての出入り口に設置し、来庁する市民の皆様にご利用いただいている。清拭による消毒については、市民ホールや、各職場のカウンターやドアノブ、手すりなど不特定多数が接触する個所を、次亜塩素酸ナトリウム液を希釈した消毒液を用いて、職員により午前及び、午後1回を目安に行っています。パーテーションの設置については、窓口となるカウンターに4月から自立式パーテーションを設置していたが、7月下旬に佐久保健所管内で感染が広がったことから、更に広い範囲を遮蔽するため、現在は飛沫防止シートを天井からつりさげ、感染防止の効果を高めている。職員の勤務等で取り組んでいる事は、時差出勤の促進や週休日の振り替で、従事職員数の抑制を行っている。

(高柳) コロナ禍で、民間企業では、テレワークが導入されているが、市役所における将来的な導入についての考えは。

(佐藤総務部長) 中央官庁では取り組みが進んでいると認識しているが、佐久市役所内では、取り組みが進んでいないのが現状です。市役所の業務は、ほとんどの部署で、窓口業務を基本としているので、テレワーク導入については、セキュリティも含め、引き続き課題等の整理を進めていきたいと考えています。

④ 佐久市としての誹謗中傷に関する対応について

(高柳) 誹謗中傷により大変な思いをしている人がいるが佐久市の対応は。

(小林市民健康部長) 市内での新型コロナウイルス感染者が発生していない5月より【新型コロナウイルス感染症に関連した差別や、虐待に対する法務大臣ビデオメッセージ】や、日本赤十字社の【新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう。負のスパイラルを打ち切るために】を市ホームページに掲載し、新型コロナウイルス感染症に特化した人権侵害防止の意識啓発に取り組んできた。8月上旬には、人権侵害や風評を行わない気運を高めることを目的に、【なくそう！コロナ差別】と題した記事を市ホームページに掲載した。今後も情報発信による広報啓発活動に取り組んでまいります。

※ご意見ご要望につきましては電話 0267-58-4367 携帯 090-4613-0021 へお気軽に！